

科目概要 理学療法士学科

系列		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1年		2年		3年		講義概要
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎分野	科学的思考の基礎・人間と生活	医療英語 Medical English	必修	講義	1	16			16				医療現場に関係する英単語・英文・文法・発音等を身につける。
		情報科学 Information Science	必修	講義 演習	2	60	30	30					情報機器の操作・仕組みを理解し情報化社会に必要な情報処理能力を身につける。加えて、生成AIなど最新のデジタル技術を身に着ける。
		物理学 Physics	必修	講義	1	16	16						人体の運動における物理的作用とその影響を学び、動作・運動の基礎となる物理的知識を身につける。
		医療倫理学 Medical Ethics	必修	講義	1	16	16						現代医療における臓器移植、尊厳死など生と死の問題から生命倫理、人の尊厳を幅広く学ぶ。
		健康スポーツ科学 Health Sports Science	必修	講義 演習	1	16		16					運動生理学的観点から、身体運動のメカニズム、テーピングや栄養指導などの知識・技術を学ぶ。
		国際医療福祉 International Medical Welfare	必修	講義 演習	1	30				30			米国の理学療法、リハビリテーションの実践に携わる施設を訪問し、国際化社会に対応する知識を身につける。
		人間関係とコミュニケーション Psychology & Communication	必修	講義 演習	1	30	30						グループワークなどで、患者・利用者等との良好な人間関係を構築するためのコミュニケーション能力を身につける。
		社会福祉論 Social Welfare Theory	必修	講義	1	30	30						福祉とは何かを学び、人々の生活を支える福祉に関する様々な組織の役割や活動について理解を深める。
		心理学概論 Psychology	必修	講義	1	30	30						人間の行動の原動力となる心の働きに注目し、自由で主体的な判断と行動が出来る能力を身につける。
		予防と健康 Prevention and health	必修	講義 演習	1	30	30						地域で生活する人々の健康づくりや疾病・介護予防活動について理解するとともに、実際に経験することで理解を深める。
		キャリアデザインⅠ Career designⅠ	必修	演習	1	16	8	8					キャリアとは何か、またキャリア形成の考え方を学び、個人また理学療法士としてどのような生き方をしていきたいかを考える。
		キャリアデザインⅡ Career designⅡ	必修	演習	1	16			8	8			自己分析、企業研究等を通じて、就職に向けた具体的思考と行動を養う。
		理学療法士の多様化Ⅰ Diversification of physical therapistsⅠ	必修	講義	1	16	16						多様化する理学療法士のキャリアを理解し、実際の働き方や実技について学ぶ。
		理学療法士の多様化Ⅱ Diversification of physical therapistsⅡ	必修	講義	1	16				16			多様化する理学療法士のキャリアを理解し、実際の働き方や実技について学ぶ。
		チーム医療概論 Introduction to Team medical	必修	講義	1	16		16					チーム医療の定義や目的を知り、多職種連携における理学療法士の役割や責任、連携について学ぶ。
		チーム医療演習 Team medical & Practice	必修	演習	1	16			16				多職種連携における理学療法士の役割や責任、連携を理解し、関係諸機関の調整および教育的役割を演習を通じて学ぶ。
	人体の構造と機能	解剖生理学Ⅰ Anatomical physiologyⅠ	必修	講義	2	60	60						筋骨格系に関する構造や仕組みを学習する。
		解剖生理学Ⅱ Anatomical physiologyⅡ	必修	講義	2	60	60						神経系に関する構造や仕組みを学習する。
		解剖生理学Ⅲ Anatomical physiologyⅢ	必修	講義	2	46		46					代謝、呼吸器、循環器に関する構造や仕組みを学習する。
		解剖生理学Ⅳ Anatomical physiologyⅣ	必修	講義	2	46		46					消化器、腎泌尿器、生殖器に関する構造や仕組みを学習する。

科目概要 理学療法士学科

系列		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1 年		2 年		3 年		講義概要
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門基礎分野	こ 機 能 及 び 心 身 の 発 達	運動学Ⅰ KinematicsⅠ	必修	講義 演習	1	30	30						関節運動や姿勢について重心や力学的作用を学び、人体の基本的運動学について学習する。
		運動学Ⅱ KinematicsⅡ	必修	講義 演習	1	30		30					人体の基本的な動作における運動メカニズムや筋の力学的作用を系統だてて理解する。
		人間発達学 Human development	必修	講義	1	30		30					心身の発達を、社会的・神経学的・運動発達学的側面から系統だてて理解する。
		解剖生理学演習Ⅰ Anatomical Physiology & PracticeⅠ	必修	演習	1	30	30						筋骨格系、神経系に関する内容について、実習を通じて確かめ、起こった現象を分析することで解剖学、生理学の学びを深める。
		解剖生理学演習Ⅱ Anatomical Physiology & PracticeⅡ	必修	演習	1	30		30					代謝、呼吸、循環に関する内容について、実習を通じて確かめ、起こった現象を分析することで解剖学、生理学の学びを深める。
	疾 病 と 障 害 の 成 り 立 ち 及 び 回 復 過 程 の 促 進	病理学 Pathology	必修	講義	1	16	16						疾病の原因、発生機序の解明や疾病の診断を確定などの疾病の本態を理解し、理学療法と繋げる知識を身につける。
		臨床心理学 Clinical Psychology	必修	講義	1	30			30				心理アセスメントと心理療法を中心に自己及び患者の心理について、各種心理テストを用いて学ぶ。
		機能障害学 Functional Disability Studies	必修	講義	1	30	30						理学療法の対象となる機能障害の病態や治療、回復過程について学ぶ。主に炎症、疼痛、筋力低下、関節可動域制限、運動麻痺等について学ぶ。
		内科学 Internal medicine	必修	講義	2	46		46					様々な内科的疾患の原因や病態と症状、予後、治癒過程と治療について理解する。
		整形外科学 Orthopedics	必修	講義	2	46		46					様々な整形外科的疾患の原因や病態と症状、予後、治癒過程と治療について理解する。
		神経内科学 Neurology	必修	講義	2	46		46					様々な神経内科的疾患の原因や病態と症状、予後、治癒過程と治療について理解する。
		小児科学 Pediatrics	必修	講義	1	30			30				様々な小児科的疾患の原因や病態と症状、予後、治癒過程と治療について理解する。
		精神医学 Psychiatry	必修	講義	1	30			30				精神障害の病因、類型、経過、治療などの精神医学の基礎を学ぶ。
	疾 病 と 障 害 の 成 り 立 ち 及 び 回 復 過 程 の 促 進	栄養と食事 Nutrition and Meal	必修	講義	1	30		30					健康維持や疾病からの回復促進のための栄養や食事療法等について理解する。
		臨床薬理学 Clinical Pharmacology	必修	講義	1	16				16			薬物の科学的特徴、作用機序と生体に及ぼす影響を知り、健康障害の治療としての薬理作用と理学療法時の注意点を学ぶ。
		蘇生と救急処置 Reanimation and First Aid	必修	講義 演習	1	16				16			臨床の場で実施される応急手当の基礎知識（気道異物除去や止血法、心肺蘇生法など）を学び、実施できる。
	保 健 医 療 福 祉 と リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン の 理 念	リハビリテーション 概論 Introduction to Rehabilitation	必修	講義	1	16	16						ノーマライゼーションやリハビリテーションの概念を学び、理学療法士としての基本的心構えを形成する。
		理学療法概論 Introduction to Physical Therapy	必修	講義	1	16	16						理学療法の歴史や定義、関連する法律、役割や内容などの概要を学ぶ。
		リハビリテーション 医学 Rehabilitation Medicine	必修	講義	1	16			16				基礎医学で学んだ知識を基に、リハビリテーションの対象になる各種疾患の障がい像、リハビリテーションのかかわりを学ぶ。
		社会保障制度 Social Security System	必修	講義	1	16			16				社会保障制度の概要を体系的に理解すると共に、社会や経済の変化を理解し、今後の社会保障の動向を学ぶ。

科目概要 理学療法士学科

系列		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1 年		2 年		3 年		講義概要
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門分野	基礎理学療法	理学療法研究法Ⅰ Physical therapy research methodⅠ	必修	講義 演習	1	30			30				研究の意義を理解したうえで、論文の読み方、研究デザインの基本的考え方、基本統計分析について学ぶ。
		理学療法研究法Ⅱ Physical therapy research methodⅡ	必修	演習	1	30				30			研究デザインを考え、倫理審査を経て研究計画書作成に取り組む。さらに、実際に研究に取り組む論文執筆に取り組む。
		理学療法研究法Ⅲ Physical therapy research methodⅢ	必修	演習	3	90					45	45	取り組んだ研究成果について論文、抄録、プレゼンテーション資料を作成し、学内で発表する。
		運動療法学 Therapeutic Exercise	必修	講義	2	46			46				身体の運動を科学的に捉え、運動を基礎として機能回復に応用する運動治療学について学ぶ。
		物理療法学 Physio Therapeutics	必修	講義	2	46			46				物理特性を応用した治療法の原理と各種物理療法に対する生体反応を理解し、その適応を学ぶ。
	理学療法管理学	マネジメント論Ⅰ Management theoryⅠ	必修	演習	1	30	15	15					マネジメントとは何かを理解し、自己課題、グループ課題の解決に向けた演習を行い、マネジメント力を身に着ける。
		マネジメント論Ⅱ Management theoryⅡ	必修	演習	1	30			15	15			組織マネジメントについて学び、実際の組織運営や経営に携わる理学療法士の講義を聞くことでマネジメントに関する理解を深める。
	理学療法評価学	理学療法評価学Ⅰ Physical Therapy EvaluationⅠ	必修	講義 演習	1	30	30						理学療法評価の目的・意義を理解する。加えて、バイタル測定、形態測定に関する知識・技術、対象者に対するオリエンテーション技術を身につける。
		理学療法評価学Ⅱ Physical Therapy EvaluationⅡ	必修	講義 演習	1	30		30					関節可動域測定、筋力測定の目的、意義を理解し、正しく実施するための知識・技術を身につける。
		理学療法評価学Ⅲ Physical Therapy EvaluationⅢ	必修	講義 演習	1	30			30				感覚検査、反射・筋緊張検査、協調運動機能検査、バランス検査の目的、意義を理解し、正しく実施するための知識・技術を身につける。
		理学療法評価学Ⅳ Physical Therapy EvaluationⅣ	必修	演習	2	46				46			Pre-OSCEを通じて、模擬患者に対し安全かつ正確に理学療法評価を実施できる技術を身に着ける。加えて、評価実習の中間評価を行う。
		理学療法評価学Ⅴ Physical Therapy EvaluationⅤ	必修	演習	1	30						30	Post-CC-OSCEや実習報告会、ポートフォリオの整理を通じて、実習を通じた成長の程度を評価する。
		画像診断学 Diagnostic imaging	必修	講義	1	16				16			各種疾患における画像診断について学ぶ。
		医療安全 Patient Safety	必修	講義	1	16	16						理学療法場面で起こりえる医療事故やリスク管理を学び、想定できる能力を身につける。
		運動器系理学療法学Ⅰ Physical Therapy for OrthopedicsⅠ	必修	講義 演習	1	30			30				骨折や脱臼、関節疾患、末梢神経障害等に対する理学療法の理論や評価、治療技術を学ぶ。
		運動器系理学療法学Ⅱ Physical Therapy for OrthopedicsⅡ	必修	講義 演習	1	30			30				頸部および腰部疾患等に対する理学療法の理論や評価、治療技術を学ぶ。
		運動器系理学療法学Ⅲ Physical Therapy for OrthopedicsⅢ	必修	講義 演習	1	30				30			スポーツ障害、外傷等に対する理学療法の理論や評価、治療技術を学ぶ。
		中枢神経系理学療法学Ⅰ Physical Therapy for NeurosurgeryⅠ	必修	講義 演習	2	60			60				脳血管疾患やそれに付随して起こる症状に対する理学療法の理論や評価、治療技術を学ぶ。
		中枢神経系理学療法学Ⅱ Physical Therapy for NeurosurgeryⅡ	必修	講義 演習	1	16			16				神経・筋疾患に対する理学療法の理論や評価、治療技術を学ぶ。
		中枢神経系理学療法学Ⅲ Physical Therapy for NeurosurgeryⅢ	必修	講義 演習	1	16				16			脊髄損傷に対する理学療法の理論や評価、治療技術を学ぶ。

科目概要 理学療法士学科

系列		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	単位 数	時間 数	1年		2年		3年		講義概要
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門分野	理学療法治療学	内部障害理学療法学Ⅰ Physical Therapy for internal organ diseaseⅠ	必修	講義 演習	1	30			30				呼吸器疾患、代謝疾患に対する理学療法の理論や評価、治療技術を学ぶ。加えて、喀痰吸引に関する知識と技術を身に着ける。
		内部障害理学療法学Ⅱ Physical Therapy for internal organ diseaseⅡ	必修	講義 演習	1	30				30			循環器疾患、腎疾患に対する理学療法の理論や評価、治療技術を学ぶ。
		小児発達系理学療法学 Physical Therapy for Pediatrics	必修	講義 演習	1	30				30			小児疾患、発達障害に対する理学療法の理論や評価、治療技術を学ぶ。
		義肢装具学 Prosthesis & Orthosis	必修	講義	1	30			30				義手、義足、装具の基本的構造と機能について理解し、その種類や適合方法、切断の理学療法について学ぶ。
		介助技術演習 Assistance skills training	必修	講義 演習	1	30				30			起居、起立、移乗動作や歩行や車いす移動に関する介助技術を身に着ける。
		理学療法総合演習Ⅰ Physical Therapy for integrated studyⅠ	必修	演習	1	30		30					これまでの過程において学修した医学的基礎知識や理学療法の専門知識を整理し見直すことで、知識や技術の定着を図る。
		理学療法総合演習Ⅱ Physical Therapy for integrated studyⅡ	必修	演習	1	30				30			これまでの過程において学修した医学的基礎知識や理学療法の専門知識を整理し見直すことで、知識や技術の定着を図る。
		理学療法総合演習Ⅲ Physical Therapy for integrated studyⅢ	必修	演習	4	120					30	90	これまでの過程において学修した医学的基礎知識や理学療法の専門知識を整理し見直すことで、知識や技術の定着を図る。
		スポーツ理学療法学 Sports physical therapy	必修	講義	1	30			15	15			健全者スポーツやパラスポーツにおけるトレーナとしての知識や技術を身に着ける。
		日常生活活動学 Activities of daily living	必修	講義	1	16		16					ADLやIADLの概念や評価方法等について理解する。
		日常生活活動学演習 Practice for Activities of daily living	必修	演習	1	16			16				ペーパーペイシェントを通じて、ADLやIADLを評価する思考を身に着ける。
		生活環境整備と福祉用具 Living environment improvement and welfare equipment	必修	演習	1	16		16					高齢者や障がい者の環境整備の基礎知識として、住環境や様々な福祉用具について知識を身に着ける。
		臨床推論学演習 Practice for clinical reasoning	必修	講義	2	60				60			ペーパーペイシェントを通じて、対象者の問題点を分析しICIDHやICFで整理する。また、予後予測を行い、ゴール設定、プログラム立案を行う過程で、臨床推論力を養う。
専門分野	地域理学療法学	地域理学療法学Ⅰ Physical Therapy for Local AreaⅠ	必修	講義	1	30		30					予防医学の重要性を理解するとともに、介護予防に必要な評価やプログラム立案に必要な知識を養う。
		地域理学療法学Ⅱ Physical Therapy for Local AreaⅡ	必修	講義	1	30			30				生活期におけるリハビリテーションの考え方を理解する。また、施設特性に応じたりハビリテーションの考え方を理解する。
		公衆衛生学 Public Health	必修	講義	1	16	16						公衆衛生学の概念を広く理解し、公衆衛生のための実践例を知る。
	臨床実習	見学実習 Clinical Early Exposure	必修	実習	1	40		40					実習先の施設の役割や機能、その中での理学療法士の役割や機能、具体的業務内容を理解する。
		評価実習 Clinical Assessment Education	必修	実習	6	240				240			実際の臨床現場で、カルテ情報や理学療法評価結果をもとに、対象者の問題点を分析する能力を養う。加えて、実務経験を積みながら、実施可能な技術を修得する。
		総合臨床実習 Clinicai Education	必修	実習	14	560					280	280	評価実習の内容に加え、治療計画の立案までの思考を養う。加えて、実務経験を積みながら、実施可能な技術を修得する。
総 時 間 数					115	3198	541	597	586	674	355	445	